

中野胃腸病院 外科



【当院の理念】

当院は、地域に根ざした消化器専門病院として良き伝統を重んじつつ慈愛と英知を結集し、地域医療に貢献することを理念としています。

【当院の特色】

当院は豊田市南部にある西三河地域の消化器専門病院として、胃と腸などの消化器疾患を中心に専門的な診療を行っています。当院は67床の小さな病院ですが、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本大腸肛門病学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会などの消化器系の学会の認定施設となっており、高度な専門的医療を行っています。

東海地区随一の内視鏡検査（年間に胃カメラ約20000件、大腸カメラ約6600件）を行っており、内視鏡検査で見つかった胃癌・大腸癌などに対してガイドラインに準じて治療方針を決定し、内視鏡治療から外科手術まで当院で行っています。外科手術に関しては当院でも腹腔鏡手術が増加してきており、胃癌や大腸癌に対しても半数以上を腹腔鏡手術で治療をしています。当院では外科医も多数の内視鏡検査を行うため、診断から治療方針決定・手術までを一貫して行うことにより、それぞれの患者さんに対する適切な治療を選択して行っています。

癌以外にも、胆石、虫垂炎、鼠経ヘルニア、痔、炎症性腸疾患（クローン病や潰瘍性大腸炎）などに対する手術も行っています。痔核に対する手術では、患者さんの負担の少ない「内痔核を切らずに治す硬化療法（ALTA療法）」も導入しています。クローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患の診療にも力を入れており、多くの患者さんが通院されています。内科的治療の効果が無くなった場合には手術治療も行っています。

病床数	67床
手術件数 (2016年)	241件
